

●農園部会だより カメムシ駆除・夏野菜の収穫他

里山農園でのカメムシ大発生に対して、先週対応をしていただき推定 5,000 匹ほど捕獲しました。そして 10 日にも 3,000 匹ほど捕まえました。万願寺やピーマンは 30 本植付けましたが約半分程度に虫が付き 15 本程度が生き残っています。その根元にカメムシが嫌うという、炭焼きで採取した木酢液を、ペットボトルを半分に切ったものに入れて並べてみました。その結果、カメムシの近寄りを防ぐことが出来たようで、カメムシが少なくなってきました。これで少しは収穫の可能性が生まれ、ひと安心です。なんと 54 本の木酢液の入れ物を根元に設置していただきました。この猛烈な暑さの中で、なかなか大変の作業だったと思いますが頑張ってくださいました。今年の暑さも非常にひどいものでしたが、今年は昨年より倍して暑いようです。屋外作業に関わらず室内での熱中症での死亡が伝えられています。十分気をつけましょう。

大きく育ってくれていたかぼちゃですが、一番おいしいタイミングを狙って動物にかじられてしまいました。状況からネズミではないかと話していますが分かりません。動物との共存は難しいものです。また、ピーマン・万願寺も収穫しました。本当に暑い最中の作業をありがとうございました。

会員が気持ちを込めて育てた野菜たち・・・ご入用の方は森島副理事長や農園で活動されている方々にご連絡ください。



動物にかじられたかぼちゃ

木酢液を入れた容器の設置

カメムシ大量発生（推定 3,000 匹）

●8月30日の第30回通常総会第2回理事会 提案議題を検討

今、懸命に理事会の資料を製作しています。主なイベントだけで 30 回分の呼びかけチラシを製作したところです。いつも同じパターンでしか製作出来ていないので、変わり映えがしなくてちっとも面白くありません。どなたか、新しい感覚で製作に加わって頂けないでしょうか。またイベントの内容も変化がなく同じ内容の繰り返して、魅力が伝わってこないものになっているようです。参加されている方々はこれでもお越しいただいていますが、もっと面白く愉快的な取り組みにして、多くの方々のうわさになるような内容への工夫を教えて頂ければ嬉しいのです。宜しくお願いします

●「木津川での魚とり」に向けての除草作業

スタッフの高齢化と酷暑といわれるこの異常な暑さで季節が変わるのを待ってと思っています。先日、城陽市教育委員会から 9 月 8 日に魚とりを計画しているのでと協力要請がありました。今のところ、玉水浜の中聖牛付近で実施してはと考えています。6 月の初めに通路の草刈りをした後、7 月末にも草刈りをしましたが、まだこれから 1 ヶ月以上ありますので、また元の黙阿弥になっているのではないかと思います。9 月 8 日に魚とり、10 月 6 日に魚釣りを計画していますが、その前の草刈りが大きな仕事になって来ます。2 時間程度の作業の繰り返しになりますが、皆様のご協力をお願いいたします。これに合わせて木津川貴重種調査の業務作業での除草作業も行わなければなりませんので、皆様のご協力をお願いいたします。

●竹サインペン製作 8月14日 木下さん午後から大奮闘

多くの皆さんはお盆の連休に親元や親戚への里帰りをされておられると思いますが、竹サインペンの製作の中心を担っていただいている木下勉さんは8日に京都市三条の檀王寺のイベントに出かけていただき大いに竹サインペンの宣伝を行っていただきました。そして14日には竹ペンの製作のために事務所にお越しになって製作を進めていただきました。特に今回は昆虫の標本つくりのために必要な細工針を竹サインペンの技術を生かして製作していただきました。使い勝手は未確定ですがかなり手の込んだ芸術作品になっています。9月6・7日に桜谷先生が来られますので、使ってもらうことにしています。皆さんのご家庭でも、昆虫の標本つくりで苦勞されているようでしたら使ってみてください。少々値段が張りますがいかがでしょうか。

●自然環境保全京都ネットワークの幹部役員会議が16日朝から開催されます

8月16日の朝から久ぶりに京都市中京区役所で自然環境保全ネットワークの役員会議が開催されます。主な議題は9月28・29日の第2回生きものフェスタについての相談になります。里山の会ではワークショップで「松かさツリー」や「竹サインペンつくり」、そして11月に予定している中聖牛設置で使う竹蛇籠製作講習会を計画しています。そして子どもたちの活動発表なども予定していますし、もちろん里山の会の活動紹介のパネルも準備することになっています。

●木津川希少種植生調査管理業務

春、夏の除草作業 いよいよ最終箇所までこぎつけられました。8月21日に飯岡2,000平方メートルの広大な除草作業を実施予定です。15:00から始める予定にしていますが、この時には木津川出張所の所長さんにも顔を出していただくようにお願いしようと思っています。

●9月7日近畿大学農学部オープンキャンパスに行きませんか？

本会顧問の桜谷先生からお誘いをいただいております。奈良市矢田丘陵のキャンパスを見学したり、虫取りをしたりしてはどうかと思います。案内をホームページにも載せていますので、参加を希望される方は申し込みしてください。桜谷先生が案内して下さいます。

第27回環境講演会 参加案内

京都の淡水魚はどうなっているのかな

ひと昔前には、雨が降って木津川の水位が上がると多くの魚が小川や田圃に昇ってきました。一昔前には野原の小川でメダカは田圃でいくらかでも見られました。それがレッドデータに掲載され保護される時代になりました。人間の食事や暮らし方も大きく変化しています。川は危険だといって子どもたちは近づかなくなって自然に接する機会が遠くなりました。こうした時、身近なきょうとの魚たち（アユやメダカ・コイやフナ、ドンコ）はどうなっているのでしょうか。改めて地元の魚たちの現状をお聞きする機会（細谷和海先生）をもうけましたのでふるってご参加をお願いいたします。



2024年9月14日(土) 13:00~16:00

京田辺市社会福祉センター

演題 『きょうとの淡水魚はどうなっているのかな』

講師 近畿大学名誉教授 細谷和海 先生

参加費 無料

参加申し込み 60人
受付開始 8月1日から開始 定数になり次第締め切り
申込先 fddb257@yahoo.co.jp
記載内容 1氏名 2住所 3参加方法（自家用車・徒歩等）
4電話番号 5メールアドレス



主催 特定非営利活動法人やましろ里山の会 事務所：京田辺市田辺深田15 0774-64-4183
後援 (申請中) 京都府生物多様性センター 京都府自然環境課 京田辺市
京都府教育委員会 京都市町村協議会 琵琶湖淀川流域圏交流会